



Atsuko Kudo Mail Magazine 202

2014.03.08 ● Madrid

お元気でいらっしゃいますか？

ドイツは、暖冬の2月が過ぎ、3月に入ってから、あちこちの庭でクロッカスが芽を出しています。今週からレント（受難節/四旬節＝受難週の前の40日間）に入りました。私も主にあって身と心を慎みつつ、受難週に備えて行きたいと思っています。

2月21～25日、スペインのマドリッドへ行ってまいりました。2月1日にドイツへ戻ってから、芯からの疲れを覚え、ドイツの教会からいただいたバケーション・ドナーで、数日暖かい所へ行って休むことを考えました。そんな時に、マドリッドに住む、友人ベゴーニャのご家族に、霊的な励ましが必要であることを知りました。偶然にも（神にとって偶然はありませんが）、29年前にマドリッドで私を救いに導いてくださった宣教師夫人のクラウディアがマドリッドに行くことになり、一緒にベゴーニャのご家族を訪問しようということになりました。しかし、主は、私たちの願いを越えて、信仰の家族を励ますだけでなく、伝道のチャンスも与えてくださいました。

●Mさん

友人のベゴーニャは、1987年、マドリッドの私の部屋で信仰に導かれました。その後、主の不思議な導きで、ハンブルクに留学し、看護師になりました。そして、ベゴーニャがスペインに帰省するたびに、彼女を通して、お父さん、お兄さん、そして、お母さんと、次々に家族が信仰に導かれて行きました。

ベゴーニャのお母さん宅を訪問した時の嬉しいサプライズは、ベゴーニャのお兄さんの奥さんのMさんが、私たちに会うために来てくれたことです。



Mさんは、21年前に私たちから福音を聞いて、心を大きく開きました。しかし、ある日、「もう聞きたくない」と、突然心を閉ざしたのです。その彼女が、今回再び心を開き、福音を真剣に聞いてくれました。まだ決心には至っていませんが、主がご自身を彼女に示してくださるように祈り求めて行くと言っています。どうぞMさんの救いのためにお祈りください。



●マドリッド日本語で聖書を読む会

23日の日曜には、マドリッドの郊外にあるIBC（インマヌエル・バプティスト・チャーチ）の礼拝に参加しました。ここは、「マドリッド日本語で聖書を読む会」の世話人である吉川祥永（きっかわ よしえ）さん、フェルナンド・メンデズさんご夫妻を中心に、月に一度、日本語礼拝が行われている教会です。残念ながら、この日は日本語礼拝はありませんでしたが、礼拝後、祥永さん・フェルナンドさんのお宅で、幸いな交わりの時を持たせていただきました。（写真は、IBCの前で、クラウディア、祥永さんと）

「マドリッド日本語で聖書を読む会」のサイト⇒
<http://www.ccjm.es/>

●依作（いさく）君

祥永さん・フェルナンドさんご夫妻には、昨年10月20日、可愛い依作君が生まれました。この依作君ですが、妊娠中、お腹の中での成長が遅く、10月の検査では、ほとんど成長していないことが分かりました。そこで計画出産（分娩誘発）のため入院したところ、モニタリングの最中に、赤ちゃんの心拍数がどんどん少なくなって行きました。このままでは赤ちゃんが胎内で死んでしまうと、急遽帝王切開で、無事にこの世に生まれて来ることができました。予定より一か月早い誕生でしたが、ほんとうにかわいらしく、すくすくと育っています。



ご夫妻は、妊娠中から、「この子は神から授かった子、ですから神に献げます。どうかこの子を伝道のために用いてください」と祈ってきたそうです。主が愛の御手をもって依作君を守り育み、ご両親の願いと祈りが込められたその名の通り、主に依って、神の働き人として作られて行きますように！



「マドリッド日本語で聖書を読む会」では、月に一度の礼拝の他に、聖書の学び会も開かれています。皆様も、もしマドリッドに行かれることがありましたら、是非、礼拝、学び会にご参加ください。

マドリッドには、約2000人の日本人が住んでいます。どうか、主が、「マドリッド日本語で聖書を読む会」の働きを通して、多くのマドリッド在住邦人を救いに導き、キリストの弟子として育ててくださいますように！

●トレドとユダヤ人迫害

24日(月)は、トレドを訪問しました。城壁に囲まれた美しい町、トレドには、その昔、10のシナゴークがあったと言われています。しかし、1260年、大勢のユダヤ人が虐殺されました。今回トレドを訪問したのは、大量虐殺の場となった、サンタ・マリア・ラ・ブランカ・シナゴーク(写真)を訪れるためです。



サンタ・マリア・ラ・ブランカ・シナゴークでは、現在、ユダヤ人への謝罪、ユダヤ人と教会との和解に関するシンポジウムが定期的に行われています。また、

その回りの旧ユダヤ人街は、道や壁に、メノラーやヘブライ語のタイルが埋め込まれています。それらの道を散策しながら、キリストの名によってユダヤ人を迫害した教会の罪を謝罪し、またユダヤ人とスペイン人の和解と祝福のために祈りました。

しかし、キリストの御名によって迫害されたのは、ユダヤ人、アラブ人だけではありませんでした。当時、教会の間違いを指摘する(プロテストする)信仰者も異端として迫害されたのです。重い歴史を背負ってきたスペインに、どうか主が哀願の霊を注いで砕かれた霊を与えてくださり、悔い改め、赦し、和解を通して、神の平和がもたらされますように！

3月~4月は、出来る限り動きを少なくし、じっくり主と向き合う時としたいと思っています。どうぞお祈りください。皆様の上に、主の溢れる祝福がありますように！



Atsuko Kudo

【お知らせ】

1. CD「よきかに守られて」いよいよ3月31日発売！ 定価 2,500円(税込) (国内送料無料)

ドイツ・ナチスの激動の時代に生き、キリストの弟子として殉教したボンヘッファーが、獄中最後のクリスマスに、婚約者マリアとその家族に送った詩「よきかに守られて」を中心に、キャサリン・ポーターさんのハーブ、野田常喜さんのピアノとともに、「主の臨在の御前に」「あなたに」「神の恵み」「詩篇 23 篇」「ああ感謝せん」など、心に染み入る珠玉の賛美集 14 曲。ご希望の方は、メール、またはファックスでご予約ください。また今月末までには、AKWM のオンラインストアからも購入申し込みができるようにいたします。(ただし、発売日が 3 月 31 日ですので、皆様のお手元に届くのは、4 月に入ってからになります。)

2. 「賛美セミナー」の DVD, CD 好評発売中です！ 定価 DVD, CD とも 4,000円(国内送料無料)

昨年 11 月に開催した「賛美セミナー」の録音、DVD、CD を希望の方は AKWM ホームページのオンラインストア、<http://atsukokudomm.com/html/music.html> メール akmm@atsukokudomm.com、またはファックス 06-6226-1336 までご注文ください。